

Stand UP! NO.17

2016年11月25日
発行責任者 佐久間 晃史
編集責任者 情 直 部

第13回日韓青年労働者交流!



11月10日(事前学習会)～14日にかけて開催された第13回日韓青年労働者交流にJR総連全体で47名、貨物労組青年部から8名で参加してきました。今年はパク・クネ大統領の不祥事により退陣を求める韓国国民も多く参加した為、労働者大会には約100万人を超える韓国国民が結集し、韓国史上初めての大会となりました。

1日目はチョン・テイル像への献花と、JR総連としての結団式を行い、夜はセウォル号ピケ現場へ行き、亡くなった方の遺影の前で黙祷を行いました。結団式では山田国際部長から現在の韓国の情勢、この4日間で何を学び、知るか問題提起をし、意思統一を図りました。



2日目は戦争と女性の人権博物館、ハルモニ(元従軍慰安婦)との交流、労働者大会に参加しました。ハルモニとの交流では韓国政府が日本政府と行っている金銭的和解の交渉は自分たちの意思と違う交渉であり、自分達はただ大戦時に大きな間違いを犯した事を日本政府が謝罪し、真実だったと認めてほしいだけと言われていました。そして韓国の歴史史上最大となった労働者大会では韓国労働運

動の熱さを肌で感じ、権力の暴走に対抗するには国民の結集が必要だということを感じました。

3日目は西大門刑務所の見学と韓国軌道連帯との意見交換会を行いました。韓国軌道連帯との交流ではそれぞれの労働組合の紹介、ナ・ジャンガンさんの講演を聞き、日韓の取組の違いや、若い組合員をどのように組織化するか?等の情報共有を行い今後の組織創りについて意見交換を行いました。



今年の日韓青年労働者交流では貨物労組の参加者も積極的に発言し、両国の労働運動にどう反映させるかを共に議論し交流してきました。また、過去の日本帝国主義が何をしたかや、ハルモニとの交流で戦争の悲惨さ等の真実を知る事が出来ました。安心して働く為世界で起きている事を学び、真実を見極め、行動する事が重要になってきます。貨物労組青年部として今後も韓国の仲間と交流を深めていきます!